

事務事業評価表（一般事業）

| | |
|------------|-----------|
| 評価対象年度 | 令和 元 年度 |
| 1次評価日（主幹等） | 2年 3月 31日 |
| 2次評価日（課長等） | 2年 3月 31日 |

| | | | |
|-------|-----------|-----|------|
| 1 事業名 | 美術考古館学習事業 | コード | 6204 |
|-------|-----------|-----|------|

| | | | |
|--------|--------|-----------------|-----------|
| 2 担当部課 | 部等 教育部 | 課等 生涯学習課（美術考古館） | 作成者 戸谷田剛秀 |
|--------|--------|-----------------|-----------|

| | | | | | |
|--------|------|------|----------------------|------|----------|
| 3 事業概要 | 目的体系 | 基本目標 | 未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち | | |
| | | 政 策 | スポーツ・文化の振興 | 施 策 | 分化・芸術の振興 |
| | | 予算科目 | 学習事業費 | 業務委託 | なし（直営） |
| | | 実施義務 | なし（選択的事業） | 国県補助 | なし |
| | | 根拠法令 | 博物館法第3条7 | | |

●事業の内容（D0）

| | | | |
|------------|---|---|--|
| 4 事業の概要等 | *対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか） | | |
| 事業の概要（簡潔に） | 子どもから大人まで幅広い年齢層が、気軽に芸術と歴史や考古に触れ、学習の成果を発表することで、生涯学習を推進する。また、新たに縄文時代の復元家屋の展示を行い、より縄文の深い理解と生活状況等の学習を行った。 | | |
| 目的 | 対象者 | 市民及び来館者 | |
| | 意 図 | より多くの人々が美術、考古を楽しく体験学習し、美術考古館に対する興味を深める。 | |

| | | | |
|------------|---|--|--|
| 5 事業の実施内容 | *元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容 | | |
| | <p>・市民や来館者等を対象としたワークショップ、各種イベント等を開催</p> <p>・春市関連企画カノラータアンサンブルコンサート(4月28日)・春市関連企画縄文モチーフの春色フェルトブローチを作ろう(4月29日)・陶器のかぶとに絵付けをしよう(5月5日)・父の日企画 オリジナルマグカップを作ろう・日達れんげ講師による「土器のモチーフでトートバッグを作ろう」(6月15日)・軽トラ市企画 スーパーボールすくい、貝殻とレジンで海のキーホルダーを作ろう(7月21日)・きつね祭り企画 貝殻とレジンで海のキーホルダーを作ろう、火おこし体験(7月27日)・縄文風ネームプレートづくり(8月10日)・太鼓祭り企画 透明うちわを作ろう(8月13日)・縄文復元家屋のカヤをはろう(8月18日)・縄文風ネームプレートづくり(8月20日)・諏訪湖まちじゅう芸術祭 関連イベント マーキングでブックカバーを作ろう(9月14日)・諏訪湖まちじゅう芸術祭 関連イベント 秋のMuseum Concert(9月22日)・おかやフェスタ関連イベント オリジナル缶バッジを作ろう(10月5日)・秋市関連企画 スクラッチ画でハロウィンランタンを作ろう(10月14日)・子育て支援学級ワークショップ(10月18日)・城南小学校 缶バッジづくり(11月1日)・こどものくにワークショップ(11月18日)・下諏訪南小学校 空気砲を作ろう(11月29日)・伊東美和講師による「チョークアートでクリスマスツリーを描こう」(11月30日)・フェルトのクリスマスツリーを作ろう(12月1日)・年賀状用の消しゴムハンコを作ろう(12月7日)・福笑いで初笑いしよう(12月15日)・招き猫の貯金箱に色づけしよう(1月11日)・ともそだちプラネットスクラッチ画でレインボーカラーの絵を描こう(2月10日)・信濃刀画の会講師による「エコで楽な木版画を」(2月23日)</p> <p>※コロナウイルスにより3月のイベントは中止</p> <p>・体験的絵画教室1. 鉛筆デッサン体験（4月13日・20日・27日）</p> <p>・体験的絵画教室2. テンペラ画体験（5月11日・18日・25日）</p> <p>・体験的絵画教室3. 模写体験—洋画(6月8日・22日・29日)</p> <p>・体験的絵画教室4. スクラッチ画体験（7月6日・13日・20日）</p> <p>・体験的絵画教室5. 模写体験—日本画（10月14日・18日・21日・26日）</p> <p>・体験的絵画教室6. 土で縄文を描く体験（11月2日・9日・16日）</p> <p style="text-align: right;">参加者 計 1,083名</p> | | |
| 前年度の課題への対応 | 昨年に引続き、館長が講師となり大人向けのワークショップを開催するとともに、地域イベントにも協力をおこない、学校等の子ども達にも各種ワークショップにより楽しんだ。 | | |

| | | | | | |
|-------------|---------------------------------------|---------------|--------|--------|---------|
| 6 指標の達成状況 | *活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度 | | | | |
| | 区分 | 29年度 | 30年度 | 元年度 | 2年度(予算) |
| ① 活動指標（指標名） | 開催日数 | | | | 単位 日 |
| | 実績値 | 27 | 46 | 47 | |
| | *指標の説明 | ワークショップ等の開催日数 | | | |
| ② 成果指標（指標名） | 参加者数 | | | | 単位 人 |
| | 目標値 | 340 | 340 | 340 | 340 |
| | 実績値 | 960 | 903 | 1,083 | |
| | 達成度 | 282.4% | 265.6% | 318.5% | |
| | *指標の説明 | ワークショップ等の参加者数 | | | |
| | *目標値の設定方法の説明 | 予算 | | | |

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

| 区分 | 29年度 | 30年度 | 元年度 | 2年度(予算) |
|---------------|---------------|-----------|-----------|-----------|
| ① 直接事業費 | 152,683 | 246,881 | 618,477 | 105,000 |
| 経常経費 | 127,351 | 128,992 | 150,113 | 105,000 |
| 臨時的経費 | 25,332 | 117,889 | 468,364 | 0 |
| * 臨時的経費の説明 | 縄文復元家屋設置 | | | |
| 区分 | 29年度 | 30年度 | 元年度 | 2年度(予算) |
| ② 人件費 | 1,600,000 | 1,600,000 | 1,600,000 | 1,600,000 |
| 正規職員の人数(人) | 0.20 | 0.20 | 0.20 | 0.20 |
| ③ 合計コスト(①+②) | 1,752,683 | 1,846,881 | 2,218,477 | 1,705,000 |
| 前年度比 | | 105.4% | 120.1% | 76.9% |
| 財源内訳 | | | | |
| 一般財源 | 1,572,343 | 1,679,311 | 2,031,327 | 1,545,000 |
| 特定財源 | 180,340 | 167,570 | 187,150 | 160,000 |
| * 特定財源の説明 | ワークショップ等実費徴収金 | | | |
| ④ 活動一単位あたりコスト | 63,976 | 37,587 | 37,236 | |
| 前年度比 | | 58.8% | 99.1% | |
| ⑤ コストに関する補足説明 | | | | |

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

| 補助金負担金名 | 29年度 | 30年度 | 元年度 | 2年度(予算) |
|-----------------------|------|-------|-------|---------|
| | 件数 | | | |
| | 金額 | | | |
| | 件数 | | | |
| | 金額 | | | |
| | 件数 | | | |
| | 金額 | | | |
| | 件数 | | | |
| | 金額 | | | |
| ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合 | 合計金額 | 0 | 0 | 0 |
| | 割合 | 0.00% | 0.00% | 0.00% |

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

| 評価項目 | はい | いいえ |
|---|----|-----|
| ① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。 | 1 | |
| ② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。 | 1 | |
| ③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。 | 1 | |
| ④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。 | 1 | |
| ⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。 | 1 | |

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

| 評価項目 | はい | いいえ |
|---------------------------------------|----------------------|-----|
| ① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。 | 1 | |
| ② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。 | 1 | |
| ③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。 | 1 | |
| ④ この事業の利用者が増加した。 | 成果指標の実績値 前年度比 119.9% | 1 |
| ⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。 | 成果指標の目標値 達成度 318.5% | 1 |

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

| | | |
|------|--|---------|
| 課題 | <p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <p>敷居が低く、気軽に立ち寄れる美術考古館として、子どもから大人まで楽しめるワークショップ及び学習事業を開催する必要がある。また、地域のイベント等と連携し、街なかの賑わいに寄与する必要がある。</p> | |
| 改善方法 | <p>(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>特定の人だけではなく、多くの人に参加してもらえるよう、内容にも創意工夫をおこない、美術考古館の周知及び学習に繋げる。また、積極的に出張ワークショップ等を行い、ものづくり、美術等に触れる機会づくりの提供が必要。</p> | |
| | 改善開始時期 | 2020年4月 |

●次年度の計画 (PLAN)

| | | | |
|-----------|--------|--|---|
| 11 次年度の方針 | 継続して実施 | 12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること | B |
|-----------|--------|--|---|